

令和5年度事業報告書		事業所名	しおかぜお台場	作成者	原浩文	作成日	R6.3.31	
目標	本年テーマ	(計画) 地域の生活を支える拠点としての知名度を高め、利用者にも職員にも期待をもてるようにする。						
		(評価) 知名度はかなり高く、地域の方にもたくさん来ていただけたことができた。						
基本処遇及び運営	■令和5年度処遇及び運営方針に対する評価							
	(計画)・地域に根差した通所介護を実施し、心配りのあるサービスの提供と正確な広報活動で事業として継続していけるように満足度を得る。							
	<通所介護> 体操と静養を組み合わせた効率的な機能訓練の提供。安心した入浴の提供							
	<地域支援> 介護相談と協力しワンストップ窓口を作る。緊急避難所となる。一般開放を行う。							
	(評価)							
	<通所介護> 4月からの立ち上げから3月の年度末で登録60人を超えることができた。体調不良等で利用終了される方はいたが、不満があって止める方はおらず、利用者や地域のケアマネージャーさんなど、それぞれから紹介があり、サービス面でも満足いただけたと考えられる。							
	<地域支援> ワンストップ窓口としてはあるものの、デイサービス利用者から介護相談や、地域の体操で来られた方からの相談などがあつた。また、相談目的でお台場を訪ねてこられる方も数名程度はいた。避難所はまだ備蓄など行っていない。一般開放は定期的に月5～6日の利用はある。引き続き協力していきたい。							
	■職員研修計画と実績							
	研修・セミナー	研修名称	参加実績	研修名称	参加実績			
		認知症基礎研修	川上朋弘					
介護支援専門員専門研修Ⅰ		原浩文						
レクリエーションとリハビリ体操の理論と実践		伊藤拓也						
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
	会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果				
	虐待防止委員会	新人職員もあり、基礎的な勉強会も併せて行った。						
	介護事故予防委員会	転倒などの事故もなく行えた。また、事故報告の作り方なども説明した。						
	身体拘束防止	虐待防止と一緒に行った。身体拘束にあたる行為の周知を行った。						
	事業部会議	全員						

防災・災害	■災害訓練計画・実績				
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価	
	令和5年5月	同	火災避難訓練	当施設初めて行ったが、無事に行うことができた。	
	令和5年11月	同	火災避難訓練	特に問題なく行えた。真剣に取り組むことができた。	

行事・イベント	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度				
	4 月	スペースワンダー基礎講習			
		竣工式(4/6)・内覧会(4/9～15)・地域開放開始			
	5 月				
		屋外歩行訓練(玉野へ外出)・火災避難訓練			
	6 月				
		屋外歩行訓練(鷺羽山)・ミニ盆栽(寄せ植え)作り			
	7 月	業務継続計画に関する勉強会(災害)			
	8 月	かき氷			
	9 月	敬老会週間			
	10月				
	11月	日帰り旅行			
火災避難訓練・クリスマスリース作り					
12月	身体拘束防止研修・虐待・感染症対策勉強会				
	年末買い物支援外出・門松づくり				
1 月					
	祇園神社初詣(甘酒ふるまい)				
2 月					
	生活相談週間・健康講座				
3 月					
	屋外歩行訓練(下津井駅跡へ外出)				

(総評)

デイの安定化として、初年度の利用者・収入については当初予算をクリアすることができました。利用者さんについても、「**あんけーと結果**」という評価を得ることができ、内容もスペースワンダーをしに来ていたといわれる方もおり、楽しく運動することができるなど、サービスも〇〇しているようです。ただし、開設直後など職員の余裕のある中で出来ていたこともあるので、マンネリ化することなく引き続きサービス内容の変化をつけることは必要に感じています。

地域支援についてですが、介護相談と地域での相談窓口、避難所機能をもたせることとしては十分に機能していませんでした。相談窓口についてはデイ利用者や数は少ないですが地域の方の相談を受けることができています。ここについては特に、地域の体操に参加(6回/月)した際に「顔見知りを作る。」ことを目的にしました。定期的に地域に出向くことはできたと思います。避難所機能については備蓄の予算を取っていなかったこともあり、令和6年度に予算を取り、引き続き取り組んで行く予定です。外部利用についても、サロン活動や子育てグループの活動、下津井節継承プロジェクトなど月5～6回の利用がありました。じょじょにロコミやデイの見学者などにも2階スペースを見ていただく、また申し込みのオンライン化に向けて準備を続けています。10～12月には運動部分を土曜日午前に一般開放しましたが、来られた方は1名だけでした。

1年を通して事業を運営してみて、地元下津井の方からの地域の拠点としての認知度は非常に高く感じます。グループでデイに来ていただく方、初年度のテーマの達成は成ったように思います。また、赤崎菰池味野方面も高齢者支援センターさんからたくさん紹介を得ることができました。今いただいている評価を落とさないよう、デイと地域支援について両輪のように動き、しおかせ全体の地域での評価を上げられるように努めていきます。